

What's on Kyodokodo

2009.11.10
No.7



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

- ◆ 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- ◆ 質問・提案をお寄せください
→ advice@ppscamp.net
- ◆ HSMR登録病院・HSMRモニター病院、募集中
HSMR登録病院
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
HSMRモニター病院
→ <https://kyodokodo.jp/partners/index.php>

CONTENTS

医療安全全国フォーラムのお知らせ

- 1 フォーラム・セミナー等のご案内
- 2 行動目標1に関してよくある質問と回答をアップしました
- 3 質問・提案等を受け付けています
- 4 共同行動キャンペーンポスターができました!
- 5 「HSMR登録病院」と「HSMRモニター病院」を募集します!
- 6 共同行動パートナーズの活動をご紹介します/日本看護協会

医療安全全国フォーラムのお知らせ

11月23日(月・祝)に医療安全全国フォーラムが開催されます。
8目標に関するワークショップでは取り組み事例の発表や演習等を予定していますので、ふるってご参加ください。(詳しい内容は共同行動ホームページに順次アップいたします。)
参加登録のお申し込みメ切は11月16日(月)12時(正午)です。お早めにお申し込みください。

日時:11月23日(月・祝) 会場:東京ビッグサイト

<http://forum2009.ppsqsh.net/> ← 最新情報はこちらをご覧ください

*お申し込みはこちらから → <http://forum2009.ppsqsh.net/?act=reg>

NEW! 午前中のプログラムが追加されました

ギュンター・ヨーニッツ氏による特別講演『欧州における Patient Safety (患者安全)の取り組み』をはじめ、地域フォーラムの報告、支援チーム代表者による「8つの医療安全目標を達成するために」などのほか、シンガーソングライターの川江美奈子さんが「音楽の贈り物」として出演して下さることが決まりました。素敵なピアノの弾き語りで、日頃の緊張をとほぐしてもらえると幸いです(今年9月に諏訪中央病院にて行われた川江美奈子さん出演の共同行動応援コンサートのもようを本紙No.3とNo.4でご紹介しています。川江美奈子さんのホームページ <http://www.minakokawae.com/>)。

午後はワークショップ(目標別分科会)が開かれます。詳細が順次アップされています。



●ギュンター・ヨーニッツ氏

ベルリン医師自治機構会長にしてドイツ連邦医師協会質保証委員長。ドイツEBMネットワーク理事、ドイツ患者安全共同行動(German Coalition for Patient Safety)副議長、患者安全に関する政府顧問も務める。外科医。
当日は欧州の患者安全の取り組みが何をめざしているか、ご紹介いただきます。

*医療安全全国フォーラムポスターのダウンロードはこちらから
→ <http://kyodokodo.jp/091123forum.html>

1 フォーラム、セミナー等のご案内

8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

SimEXPO 2009(目標6に関連)

日程:11月26、27日 11月25日/プレSimEXPOセミナー
会場:日本橋プラザ(東京・日本橋) 主催:日本医療教授システム学会
<http://www.asas.or.jp/jsish/08sim1.html>

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

2010年3月20日(土) 京都会館大会議場
ホームページが開設されましたので、ご覧ください。
<http://us-lead.com/sscc-knk/index.html>
主催:日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会
<http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

共同行動パートナーズの活動

日本看護協会主催「医療安全推進週間企画展」

期間:平成21年11月2日(月)～11月30日(金)
場所:日本看護協会ビル3F JNAプラザ
<http://www.nurse.or.jp/facilities/index.html>
テーマ「患者・市民の医療参加」
※展示内容の詳細は日本看護協会公式ホームページをご覧ください。
<http://www.nurse.or.jp/home/event/plaza/index.html>

千葉県看護協会主催

「第5回医療安全大会——医療安全のために今取り組むことは」

日時:11月27日(金) 10:00～16:00 会場:千葉市民会館
<http://www.cna.or.jp/>

2 行動目標1に関してよくある質問と回答をアップしました

行動目標1「危険薬の誤投与防止」に関するよくある質問と、支援チームからの回答をアップしました。公開ページのメニュー「Q&A」の[目標1](#)についてからご覧ください。

〔高張塩化ナトリウム注射剤について〕

- Q.** 高張塩化ナトリウム注射剤は病棟配備をしています。事故事例等の情報を教えてください。
- Q.** 高濃度カリウム塩注射剤の全病棟保管の廃止は完了したのですが、高張塩化ナトリウム注射剤の病棟保管の廃止はできそうになく、推進チーム内でも廃止の必要性がないという意見が多数派です。高張塩化ナトリウム注射剤の危険性を教えてください。

[ハイリスク薬について]

- Q. 「診療報酬によるハイリスク薬」ということの解釈が充分理解できていません。また、ハイリスク薬のとらえかたを「施設の解釈で」とされていますが、当院のハイリスク薬の基準で考えてよいのでしょうか？
- Q. 危険薬リストはどの範囲で作るべきでしょうか？ すべてリストアップすると約350品目となるので、特に重要と思われる薬品群に限定したほうがよいのではないのでしょうか？

[注射指示の標準化とは]

- Q. 「注射指示の標準化」とはどういったことをすればよいのですか？

[スライディングスケールについて]

- Q. 血糖のスライディングスケールや低血糖時の標準化を進めようとしていますが、依頼した生活習慣病改善委員会の代表医師(内分泌)は「患者ごとに違うので、そのつど考えるしかない」として標準化に反対しています。何かよい方法はないのでしょうか？

*行動目標に関して皆さまから寄せられる質問のうち、よくいただく質問と支援チームからの回答を公開ページに掲載しています。

*内容によってはパートナーズ専用ページ(非公開、参加登録病院が対象)のみに掲載いたします。

3 質問・提案等を受け付けています

皆様からのご質問やご提案、ご報告を下記のメールアドレスまでお寄せください。

→ advice@ppscamp.net

パートナーズ専用ページや公開ページに掲載させていただくほか、質問内容によっては、支援チームによる公開電話相談会を開催いたします。

4 共同行動キャンペーンポスターができました!

キャンペーンポスターは「医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”」と行動目標別のものがあります。病棟、外来、検査室ほか、院内に広くご掲示いただき、医療安全の啓発にご活用ください。

A 医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ” (日本版100K)

ダウンロードしてそのままご使用いただけます。

サイズは適宜調整してください。

→公開ページ…[トップページ](#)をご覧ください。

→パートナーズ専用ページ…

[専用ページ](#)のメニューからご覧ください。



B 行動目標別キャンペーンポスター基本デザイン(目標1～目標8)

写真を詰め込む“ウインドウ”を設けています。皆様が撮影された写真を自由に詰め込んでご利用ください。(イラストレーターCS以上で開いてください)

*素敵なポスターができましたらぜひご提供ください。ホームページからご紹介して広く普及させていただきます(ポスター写真コンテストも検討中です)

→[専用ページトップのメニュー](#)からご覧ください。

C 行動目標別キャンペーンポスター完成見本(目標1～目標8)

支援チームにご提供いただいた写真を使って作成したものです。ダウンロードしてお使いいただけます。ぜひご利用ください。

→[公開ページ…トップページ](#)をご覧ください。

→[専用ページトップのメニュー](#)からご覧ください。



5 「HSMR登録病院」と「HSMRモニター病院」を募集します!

安全の取り組みの効果と改善機会を「見える化」するために、「HSMR登録病院」(どの病院でもご登録いただけます)と「HSMRモニター病院」(共同行動参加登録病院が対象)にご登録いただく病院に対して、DPCデータ(様式1)に基づく標準化病院死亡比(HSMR)を無償で算出し、「HSMR登録病院」には他の病院とのベンチマークを、「HSMRモニター病院」にはベンチマークと自院の半年ごとの変化をお知らせいたします。

*申込み方法等、詳細は、[HSMR登録病院](http://kyodokodo.jp/hsmr.html) → <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>

[HSMRモニター病院](https://kyodokodo.jp/partners/index.php) → <https://kyodokodo.jp/partners/index.php>からご覧ください。

(締切は11月20日ですが、早めのご登録をお願いいたします)

HSMR登録病院用データ送付方法については

→ http://kyodokodo.jp/doc/091021_hsmr_touroku.pdf

モニター病院用データ送付方法については

→ https://kyodokodo.jp/partners/091021_hsmr_monitor.pdf

6 共同行動パートナーズの活動をご紹介します

日本看護協会の活動

●社団法人日本看護協会 常任理事 永池 京子

日本看護協会(以下、本会)が呼びかけ団体の1つとして、都道府県看護協会や関連団体・組織との連携を重視しながら、会員・看護職ならびに国民にむけて実施している医療安全全国共同行動(以下、共同行動)の普及啓発活動をご紹介します。

共同行動のキックオフ後まもなくの昨年7月に開催した都道府県看護協会の医療安全担当者が集まる全国規模の会議では、共同行動の企画委員である鮎澤純子氏や支援チームの方々から共同行動についてご紹介いただきました。これを契機として、本会と都道府県看護協会の連携した活動が各地に広がりました。

また同年8月には、本会公式ホームページ内に共同行動に関する専用ページを開設し、これまでに、看護に関係深い行動目標の内容紹介や都道府県看護協会の活動状況などを取り上げました。

さらに、本会には毎年11月に行う医療安全推進週間に合わせた活動がありますが、ここでも共同行動について広く一般市民の方々に知っていただけるよう、共同行動の解説や参加登録病院MAPのパネル展示などを行いました。今年も、行動目標のひとつである「患者・市民の医療参加」をテーマとして、「みんなで取り組む医療安全～わたしにできること あなたにできること～」をキャッチフレーズに、患者用の転倒転落防止DVDの上映や、患者図書室紹介パネル展示を開催しています。(企画展の詳細は本会公式ホームページをご覧ください。<http://www.nurse.or.jp/home/event/plaza/index.html>)

共同行動は2年目(最終年度)を迎えました。医療の職種や立場を超え、また医療を担う病院とそれを支えるさまざまな団体とが協力して医療安全対策活動に取り組むことで、医療現場に安全の文化を浸透させ、医療の質・安全を確保し、向上させる組織能力の基盤を作ること、それが共同行動のねらいです。今後は共同行動の取り組みや意識が、さらに共同行動の枠を超えて、全国で根付いていくことを期待しています。



日本看護協会ホームページ内の共同行動専用ページ



医療安全推進週間企画展より

★ウェブマガジン What's on Kyodokodoは、毎週火曜日に配信します
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on Kyodokodo 編集室

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-8 一番町KKビル3階 社団法人日本病院会内
TEL. 03-6380-9370 FAX. 03-6380-9371
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>